



会員向けロゴステッカーを制作

～作業車両に貼付し協会の知名度アップへ～

山梨県一般廃棄物協会(篠原充会長 会員数：9組合・2企業)は、一般廃棄物収集運搬業界の地位向上のためのPR事業として、収集運搬車両に貼付する協会ロゴマークのステッカーを作成した。ステッカーは会員向けに1,000枚作成、会員組合を通じて傘下事業所に無料で配布し、収集運搬業務で使用するパッカー車やトラックなどの作業車両に貼付してもらう。



ステッカーを貼付したパッカー車

協会は、平成15年に一般廃棄物収集運搬事業者の地位向上と経営の安定を目的に協議会として発足、平成21年の法人化を経て現在に至っている。

協会は、住民の排出する生活系(家庭系)一般廃棄物の収集運搬業務を行政から受託している協同組合や協業組合による団体会員と企業会員で構成され、組合傘下の事

業者数を含めると79社が加入している。これまでも業界の健全な発展のため、会員の資質向上や人材育成のための研修会を毎年開催している他、一般廃棄物の収集運搬業務にかかわる法規・業務・安全衛生などに関する研修と受講終了証の発行なども行い、事業所のコンプライアンス(法令遵守)を重視した取り組みを進めてきた。

今回のPR事業は、一般県民に対して協会の認知度と社会的知名度アップを図るとともに、協会ステッカーを貼付した車両で業務を行うことで、協会の会員であることの自覚を促し事業者や従業員の法令遵守の徹底と交通ルールや作業マナーの向上の効果も期待している。

協会では、今後も様々な人材育成事業やPR事業を通じて協会会員であることの信頼性を高め、非会員事業者との差別化と一般県民の一般廃棄物の適正処理に対する理解を深めていくこととしている。



協会が制作したロゴステッカー